

ぜん きょう じ
善巧寺報

10 月号



月刊●善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号
TEL 048(734)7660
榎本明覚



出典：絵本『妙好人因幡の源左』昭和五十五年七月一日刊

ゲイトウェイ 妙好人

～ 因幡の源左 ～

▼二〇一九年十月一日▲

定例法座

毎月 十一日

◎十月十一日(金)午後二時

～四時

於 善巧寺 法輪会館

「断捨離」

だんしゃり

だんだんと命終が遠い未来の話ではなく、亡くなった後の事を考えて必要ないものは捨て整理しておこう、そんなことを考える人たちが増えてきています。この「断捨離」という言葉、もともとはヨガの指導者思想家である沖正弘さんが『ヨガの考え方と修行法』で用いたもので、二〇〇九年のやましたひでこさんが提唱した『新・片付け術「断捨離」』でメジャーになりました。二〇一〇年には流行語大賞を受賞しています。

「断」とは、入ってくるいらぬ物を断つ事。「捨」は、家にずっとあるいらぬ物を捨てる事。「離」は、物への執着から離れる事を言い、物への執着から離れ、知らぬ間に自分で作りだしている重荷からの解放を図り、身

軽で快適な生活と人生を手に入れる事を目的とするそうです。仏教においても、禅では「本来無一物(端から何一つ持っていない)」と言い、「淨裸々、赤洒々(じょうららしやくしゃしゃ)」

(人は皆詰まるところ丸裸という意味)とも言います。一休禪師は「生まれ子もしいだいいに知恵づきて 仏に遠くなるぞ悲しき」と詠んでいます。肩書・身分・迷悟・善悪・好嫌・美醜・自他・是非・あれやこれやとこだわる心を捨てたところに「本来無一物」が現われると言うのです。

善巧寺の住職は「断捨離」してるの？ いえいえ、あれはいつかは役立つかもしれない、あれは思い出があるから年明けたらやろう、とか屁理屈つけて遅々として断捨離が進みません。

ちなみに、完璧に断捨離された方は「仏さま」と言えるでしょう。その仏は、何もかもお捨てになって「南無阿彌陀仏(見捨てませんから安心しておくれ)」という名前となって私にその全ての徳を施し続けて下さるのです。

みほとけ会月例会

＊ポジティブコキョウ

＊DOPPLER＊

◎十一月三日(日)午後一時半～

～二時半

於 宮の坂レンタルスペース

(東急世田谷線宮の坂駅下車徒歩0分)

会費 五〇〇円

『ひっくり返される話』

推理小説で、まさかそんな結末とはとか、落語のオチでやられたーなど、大どんでんまではいかなくても、今までの自分の常識をひっくり返される体験は楽しいものです。仏教の逸話にもひっくり返される話がたびたびあります。「年をとったら堪忍が大切ですよ」と言われたお爺さん、「わしは堪忍したことが無い、いつも周りの人たちに堪忍されてばかりじゃ」「有難いご法話聞かせてもらって邪見の角が取れたわ」「また生えてこないよいよがのう。『角のあるまんまが』とお聞かせにならないんだか？」などなど、ひっくり返しの妙を味わいましょう。

※例会は毎月第一日曜日です



善巧寺報恩講

他力念仏の法義を伝えて下さった親鸞聖人のご恩に報いる、浄土真宗において最も大切にされている法要です。万障お繰り合わせの上、ご参拝下さい。

〰 期日 〰

十月二十日(日)

〰 日程 〰

十一時 法要 (於 本堂)

『正信念仏偈』

ご法話「転ばぬ先に、

転んでもなお南無阿弥陀仏」

善巧寺 住職 榎本 明覚

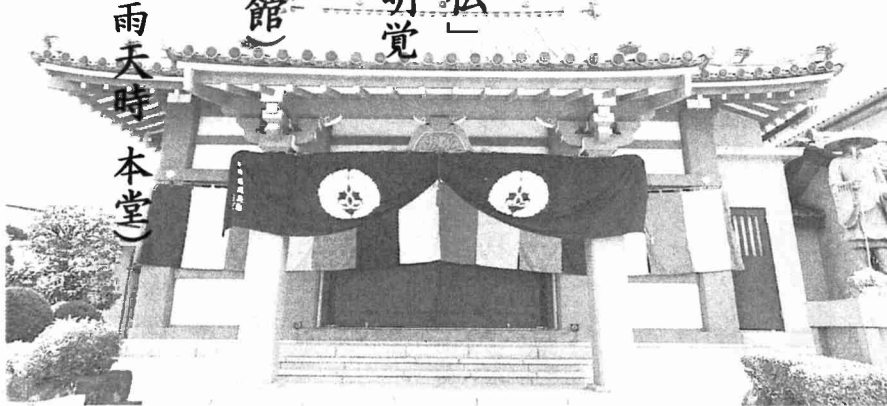
十二時半 お斎(昼食)

ミニミニバザー (於 法輪会館)

一時半 第二部

報恩堂(納骨堂)法要 (於 境内報恩堂前 雨天時 本堂)

終了後、茶話会 (於 庫裡客殿)



◎報恩講の季節となりました。準備の都合上、同封のハガキに出欠の有無と参拝人数を記入頂き、十月十五日(月)までにご投函下さい。◎十一日の定例法座ではおみぎき清掃奉仕を行います。お手伝いいただける方は作業しやすい服装でお越しください。

◎九月十一日、まこと仏教婦人会ミニミニバザー売り上げは六千四百円でした。本願寺による災害基金として送金致しました。(一部は、築地本願寺ビハール活動で小児ガン支援に使われます) 報恩講でも開催いたしますので、ご協力よろしくお願い致します。

